

集落支援員活動事業報告

生活環境課 コミュニティ推進班 ☎ 30-0202



上) 新調したはんてん
中) 衣装のわらじ
下) 駒踊の練習の様子

●下川原自治会（花輪地区）
世帯数：48 世帯 人数：145 人

■自治会長から
4年ぶりに開催した昨年の駒踊の際には、古い衣装でしたが、今年には新調した新しい衣装で、お披露目を兼ねて奉納を行いました。
現在、踊り手は自治会員のみで行

■事業内容
毎年4月19日に、市指定無形民俗文化財である「下川原駒踊」を下川原稲荷神社に奉納しています。駒踊は、勇壮かつにぎやかな舞であるため、衣装などの傷みや劣化が著しい状況にあります。
そこで、昨年度に補助制度を活用し、昭和時代から使用している半纏や用具の更新、のぼり旗を新調したほか、駒踊の「駒」を補修しました。

下川原自治会

●集落支援員活動事業とは
小規模な自治会（おおむね50世帯）を中心に、自治会の活性化につながる活動などを支援しています。活用を検討される自治会は、事前にお問い合わせください。

つていますが、担い手の高齢化と後継者不足により、継承問題が危機的状況にあります。
そのため、地区外に居住する、過去に駒踊に参加したことがある経験者の応援を求め、後継者不足の解消と地域活性化に向けて取り組んでいきたいと思っています。
他の地域から応援してくれる人に衣装を貸し出し、参加者が一丸となって伝統芸能の継承に取り組むことで、地域の活性化につなげていきます。

今日から始める脱炭素

産業活力課 ゼロカーボン推進室 ☎ 30-0249

鹿角を変える？水素の力！！

水を電気分解すると水素と酸素になります。これとは逆に、水素と酸素を化学反応させることで電気エネルギーが生じるほか、水素を燃やすと熱が得られます。

本市は地熱、水力、風力という豊富な資源から再エネ電気を作っているため、そこから二酸化炭素を排出しない、クリーンな水素（グリーン水素）を供給することができるポテンシャルがあります。

また、グリーン水素は、住宅や事業所の屋根に設置された太陽光パネルで発電して余った電気からも作ることができます。

水素は大きな電池のように電気をためておけ

るほか、水素を気体や液体にすることで、貯蔵運搬や燃料とすることができるのも大きな特徴です。

世界は脱炭素を目指し、ガソリンや灯油など二酸化炭素を排出する化石燃料を使わない社会へと変わりつつあります。本市でも、グリーン水素を利用できる未来が来るかもしれません。



■本市で想定される水素の利用例

電気の貯蔵	再エネ電気を水素で貯蔵
ガス	LP ガスの代替
熱利用	工業用バーナー、農業用ハウスの暖房
モビリティ	自動車、バイク、ドローンの燃料

Sopron note

日本語学指導員現地レポート



春の訪れを告げる
イースター

ハンガリー人の働き方

皆さんの中にも春から新しい生活が始まった方もいらっしゃると思いますので、今回はハンガリー人の働き方について紹介します。
日本では新卒採用が一般的ですが、欧米諸国では転職を見越した採用で、多くの人が3年〜5年で転職し、自分の能力や立場を上げるジョブ型の転職が特徴です。一日の労働

時間は日本と同様の8時間ですが、基本的に残業はありません。また、「本人の見た目」と「仕事の出来」は関係ないと考えられており、特別な職種を除き、服装、髪型などに関するルールはなく、市役所の職員でもカラフルな髪色やジーンズ姿、体にタトゥーが入っている方もいます。ちなみに、履歴書に性別と生年月日を記入し、顔写真を添付することは日本ならではの習慣です。
さらに、年間の有給休暇日数が年齢によって異なることも特徴の一つです。有給休暇は、20代では年間20日前後、40代では30日前後を与えられます。年齢が上がると家族の都合や健康上の理由で仕事を休む可能性が高くなるので、労働者の権利が守られているという印象を受けました。
なお、年次有給休暇を消化することが法律で定められており、ほとんどの人が全日数を消化しています。
不名誉にもKAROSH(過労死)が世界で通じる日本語になってしまった今、ハンガリー人の働き方と休み方から学ぶこともありそうです。

ハンガリーでは春の訪れを告げるイースター（復活祭）が行われました。ハンガリーのイースターでは、子孫繁栄を願って若い女性に水をかける風習があります。また、伝統衣装を着て、街中を練り歩き、ダンスを踊ります。
時間は日本と同様の8時間ですが、基本的に残業はありません。また、「本人の見た目」と「仕事の出来」は関係ないと考えられており、特別な職種を除き、服装、髪型などに関するルールはなく、市役所の職員でもカラフルな髪色やジーンズ姿、体にタトゥーが入っている方もいます。ちなみに、履歴書に性別と生年月日を記入し、顔写真を添付することは日本ならではの習慣です。
さらに、年間の有給休暇日数が年齢によって異なることも特徴の一つです。有給休暇は、20代では年間20日前後、40代では30日前後を与えられます。年齢が上がると家族の都合や健康上の理由で仕事を休む可能性が高くなるので、労働者の権利が守られているという印象を受けました。
なお、年次有給休暇を消化することが法律で定められており、ほとんどの人が全日数を消化しています。
不名誉にもKAROSH(過労死)が世界で通じる日本語になってしまった今、ハンガリー人の働き方と休み方から学ぶこともありそうです。



日本語学指導員
堀 縁さん

花輪高校卒業後、獨協大学外国語学部に入學。新潟県で地域国際交流協会に就任するなど、豊富な国際交流活動の経験を生かし、第12代日本語学指導員に就任。ハンガリーで活動中。



Instagramで
情報を発信中です

フレッシュな店っこ

地元の新しいお店を紹介します

ソババー SOBAR よつば屋

代表者より

4月1日に新規開業した“SOBAR よつば屋”です。当店は、そば屋とバーを融合した新感覚の飲食店で、昼はそば・うどん・カレーを中心に、夜は豊富なお酒を楽しめます。中心市街地の賑わいづくりに貢献したいという思いから、このたび開業しました。駅そば感覚でリーズナブルに、年代問わず立ち寄れるお店がコンセプトです。今後、テイクアウトメニューも充実させていく予定です。ぜひお気軽にお越しください。



●所在地_花輪字堰向 17
●営業時間_ 昼 11 時～ 14 時 / 夜 18 時～
●TEL_22-3105



代表 中村 浩二さん



看板商品のそば・うどんは、豊富な種類を取り揃えています。



利用者には、隣接する花輪駐車場の無料券を差し上げます。

HPは
こちら↓

